

**T X
料金**

通学定期代引き下げへ

日本
共産党

普通運賃（IC場合）	大人	小児
初乗り	168→180円	84円→84円
おおたかの森駅～秋葉原駅	629円→688円	314円→200円

通学定期	大人	小児
1～3才	4,010円→3,240円	2,010円→1,620円
10～11才	8,040円→6,660円	4,020円→3,330円
19～21才	12,550円→10,440円	6,280円→5,000円
25～27才	15,060円→12,420円	7,530円→5,000円



日本共産党

流山市議会議員

おだぎりたかし

流山民報号外（25.4.11）小田桐090-8567-8858

「運賃の上限変更」の主な内容は、改定（値上げ）により年間12.2%の增收を見込んでいます。一方、要望が強かつた「通学定期」の平均割引率は60・4%から70%に拡大。通学定期代の家計負担が引き下がられます。また小児の場合、「19キロ以降5千円均一」も導入。全体では▲15・3%の減収を見込んでいます。

「券種別申請内容」は、定期外の「初乗り（IC）」で12円、「最長（IC）」で75円の値上げ。全体では現行運賃の収入より8・2%の增收を見込んでいます。「通勤定期券」では、平均割引率で3・2%の値上げに。全体では20・2%の增收を見込んでいます。

8両化事業も位置づけ
料金改定による增收分のうち26.28年度、142億円を投じ、8両化を含む混雑緩和対策等が計画的位置付けられました。

4月11日、TXを運営する首都圏新都市鉄道（株）が、国土交通大臣宛に鉄道旅客運賃の上限変更認可申請（実施は26年3月）を行ったことがわかりました。

「今でも高すぎる」：値上げは中止を

日本共産党は、22年度の経常損益で約20億円弱の黒字の実態を示し、8両化早期実現などの要望を市議会で取り上げるとともに、6月には株主である千葉県に、8月には鉄道事業者にと要請してきました。

また、通学定期代の引き下げなど公立・私立学校へ通う生徒や保護者の要望を届けるおだぎり市議に対し、鉄道事業者からは「多方面から子育て支援策を検討する」と答えていました。

